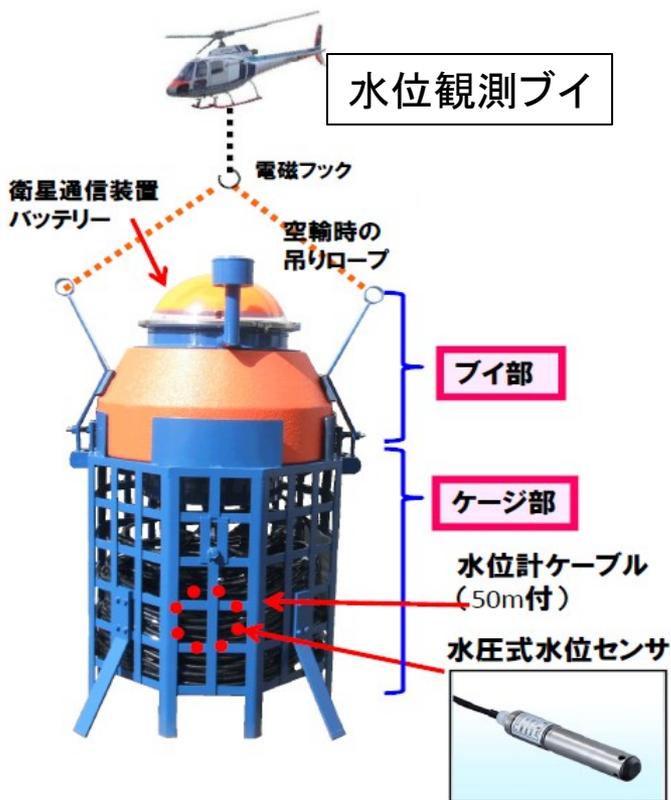


水位観測ブイの概要

- 河道閉塞(土砂ダム)に水がたまり越流すると、決壊して土石流が発生し、下流域に甚大な被害を及ぼすおそれがあるため、湛水池の水位を監視して、越流する前に下流域の住民を避難させておくことが必要となる。
- 一方、河道閉塞は山間奥地に発生することも多く、現地に入っでの水位計設置が困難な場合に備え、国土交通省は、ヘリコプターにより、運搬、投下することで、即時に湛水位を計測し、衛星通信により伝送することができる土砂ダム対応専用の水位観測ブイを保有している。



- 全体寸法 約W500×W500×H1000mm
- 全体重量 約67kg

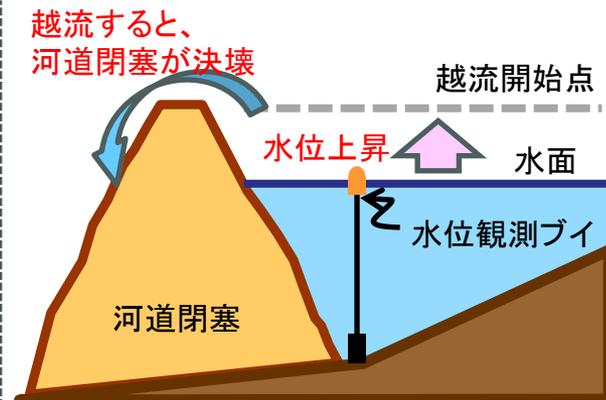
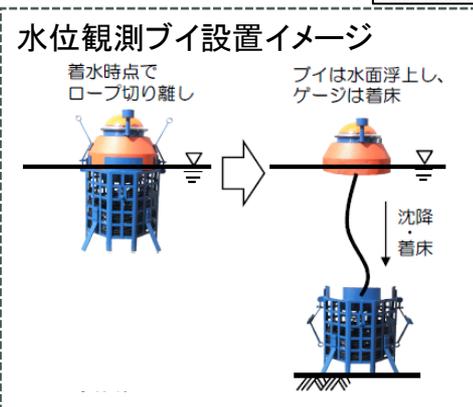


平成23年台風第12号の大雨で生じた河道閉塞 (奈良県五条市赤谷)



ヘリコプターによる水位観測ブイ投下状況

湛水池での水位観測イメージ



過去の災害における水位観測ブイの活用

- 平成20年岩手・宮城内陸地震で発生した河道閉塞で初めて水位観測ブイを活用。
- 平成23年紀伊半島大水害、平成30年北海道胆振東部地震、令和6年能登半島地震でも活用。



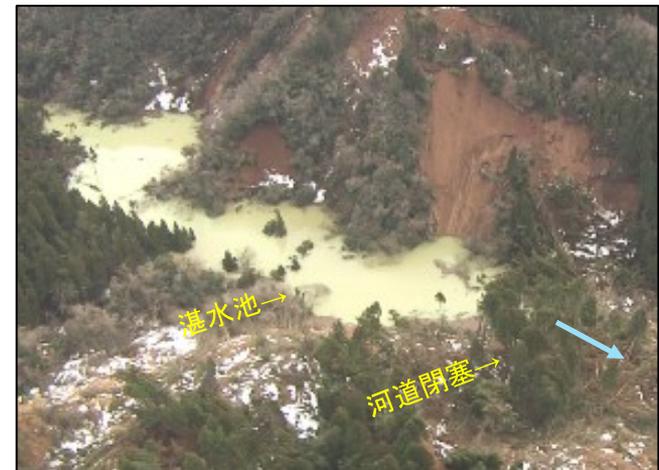
平成20年岩手・宮城内陸地震で生じた河道閉塞
はさまがわ 迫川(宮城県栗原市 くりはら 湯浜地区) ゆばま



平成30年北海道胆振東部地震で生じた河道閉塞
ひたかほろないがわ 日高幌内川(北海道勇払郡厚真町) ゆうふつぐん あつま



平成23年紀伊半島大水害で生じた河道閉塞
あかたにがわ 赤谷川(奈良県五条市 ごじょう 赤谷地区) あかたに



令和6年能登半島地震で生じた河道閉塞
うしおがわ 牛尾川(石川県輪島市 わしま 輪11)